令和5年5月28日

アナウンスの件について

～アンケート調査の結果より～

田辺西牟婁学童野球協議会

【導入の背景と経緯】

もともと導入したのは、子供たちに放送を通じて励みを与えるのではないか（選手の健全育成の一環）ということがありました。保護者が野球に携わる姿を、子供たち選手に感じ取って貰える場になればというのが導入する背景にありましたことを、まずご理解いただければと思います。当初は準決勝・決勝でスタートしたアナウンスですが、そのうちに「一回戦からしても良いですか」というチームがあり、そうした経過から、1回戦からの導入になり現在に至っています。

さて、アンケート調査の結果から、保護者のアナウンスの負担を軽減することは、重要なことであると認識しています。特に新入部員獲得の障害となっているとのご指摘が本当であるならば、このまま放置できることではありません。従いまして、少しでも負担の軽減につながればと思い、6月3日の大会から以下の通り試行したいと思います。

大会本部設置要項（大会規約並びに取り決め事項第 6 条別表 2）改正案

（6/3 試行）

学童野球人口の減少を少しでも食い止め、選手も保護者も指導者も協議会も、ともによりよい学童野球環境にするための一つとして、本部設置を下の通り改正する。

【設置要項】

〇本部構成員

対戦チームの保護者 1～2 名（男女問わない）及び役員・審判員で構成する。

〇運営に関する取り決めの変更箇所

7. 給水準備は、原則一塁と球審を一塁側チーム、二塁と三塁を三塁側チーム行う。
   → この項目は廃止する（各自持参とする）
8. 決勝戦を除いて、原則放送は行わない。
   選手交代の場合、当該監督から球審が受け、本部に伝える。各チームは必要があれば本部に確認する。時間の無駄を省くため、球審は双方に伝える義務は負わないこととする。（但し本部設置がない場合は、球審が確認し相手チームに伝える）
9. 県大会の主管担当となった場合、県軟連から特別な指示がない限り同様とする。県大会の決勝戦の本部担当は同大会に出場チームで担う。開会式、閉会式並びに 1 回戦から準決勝の本部担当を本協議会が指示します

ので各チームはこれに従ってください。

10. 給水タイム、休息タイムについて(インターバル)

原則 3 回終了後休息タイム(給水含む)を設ける。休息タイムは 5 分以内とし、試合の進行、熱中症対策等考慮し大会本部、審判により変更できる。

また、休息タイムは試合時間には入れないこととする。(時計を止める)

この時間を利用してグランド整備(散水含む)をお願いすることが出来る。

夏場の大会は上記以外に給水タイムを設ける場合もある。この場合時計は止めない。

【役 割】

〇一塁側チーム(トーナメント表番号の小さい側)の役割

1. 打席チェックシート
2. インジケーター(ボールカウント、アウトカウント)
3. 審判証の確認と返却

〇三塁側チーム(トーナメント表番号の大きい側)の役割

1. 記録書式№1 の記録
2. 投球数の管理
3. 試合時間の管理

得点板・投球数カウンター(めくり)の担当は、それぞれベンチに近い側のチームが担当する。

進行責任者は、当日の審判あるいは役員で行う。

★投球数カウンター(めくり)・・・その使用について現在検討中。